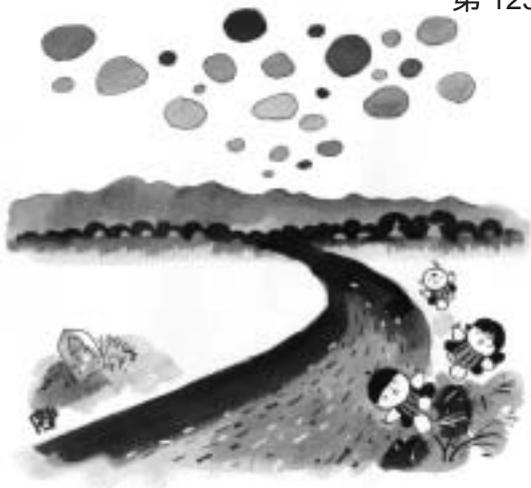


池原 昭治

# さやまの秋

第125話



## 身近な風景・秋

伝説の川「不老川」として  
 らずがわを散策しました。  
 七曲井にある観音堂が、  
 秋空の下でひとときわ輝くよ  
 うに見えます。最近の不老  
 川は清流に戻りつつあると  
 言われるだけあって、カル  
 ガモや白サギによく出会う  
 ことができます。特にカル  
 ガモの数はかなり多くど  
 うも川辺に棲みついている  
 ようです。  
 また、今年の夏休みのこ

ろは、子ども達が山王橋近  
 くの川に入って小魚を取っ  
 ているのをよく見ました。  
 やはり清流に近づいている  
 のでしょう。  
 そのまま下流に向かって  
 土手沿いを歩いて行きます  
 と、彼岸花やコスモスが咲  
 き、春の風情とはまた違っ  
 た、心がいやされる風景を  
 感じる事ができました。  
 昔のふるわな歩道沿いにあ  
 る「化け地蔵さん」にも彼岸  
 花が供えてありました。こ  
 の花を見ていますと、秋祭

りの獅子舞  
 がダブッて  
 きます。そ  
 ういえば、  
 川の近くにある金剛院では  
 入曾の獅子舞の練習も大詰  
 めに入っているそうです。  
 不老川を気ままに散策し  
 た後、権現橋あたりから眺  
 めた夕焼けは、思わず立ち  
 止まり「ウーン」と絶句する  
 ほどの絶景でした。  
 私たちの身近にある風景  
 をのんびりと歩くのもま  
 たよいものです。



市の花 / つつじ

古くから稲荷山公園のつつじとし  
 て、親しまれた花であることから、  
 市の花として決まりました。

## 狭山が発祥の地

# 童句

入選

7月3日に、童句の創始者・土家由岐  
 雄先生の七回忌記念童句大会が行われ  
 ました。今月号は、入選句を掲載します。

- けんかしたあとの寂しさ 秋の風 岸新一郎（あきる野市）
- 七五三 子は紋付に 母茶髪 宮田力ネ（あきる野市）
- 腕白の子をおどしてる 子かまきり 師昭子（あきる野市）
- けんか独楽 傷の深さを くらべ合う 山下国雄（佐賀県鳥栖市）
- 奴胤 大空の雲 けり散らす 栗野典子（狭山市）
- 秋晴れや 屋根に乗りたき はしごがある 土家由岐雄

## 何かな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課までにお送りください。

締切り10月31日(月・当日消印有効)

9月10日号の答え

11ページ・ひと・まち写真館の「ミニチュア下駄」の写真でした。



## 表紙の写真

9月19日(敬老の日)の前後に、市内各地区で敬老会(9月10日~10月16日)が行われました。今年対象となった75歳以上の皆さんは9,947名。各会場では、趣向を凝らした手作りの催しで、「いつまでも元気で長生きしてください」とのメッセージを込めて、地域みんなで祝いました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード  
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると  
 公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます